

# 日南町「J-クレジット」を 活用した取組の御紹介



## 概況

- ・昭和34年(1959)4月に伯南町、多里村、石見村、福栄村、高宮村が合併し発足
- ・島根県・広島県・岡山県に隣接。中国山地の中央に位置し、豊かな自然を有する町
- ・広い面積(340.96km<sup>2</sup>)のうち、約90%が森林である



### ■飛行機で

東京(東京国際空港)ー(約1時間20分)ー米子空港ー(連絡バス約30分)  
ー米子駅ー(JR伯備線約1時間)ー生山駅

### ■JRで

岡山駅ー(JR特急やくも約1時間30分)ー生山駅

### ■車で

大阪:約3時間20分

岡山:約2時間

広島:約2時間30分



# 【森林整備により守るべき生態系】

日南町は鳥取県西部を流れる一級河川「日野川」の源流があり、下流域住民の水瓶として適切な森林管理により、水源涵養を育む責務があります。森林に由来する、次のような貴重な生態系も存在しています。



国の特別天然記念物  
「オオサンショウウオ」



ヒメホタルとゲンジホタルの饗宴

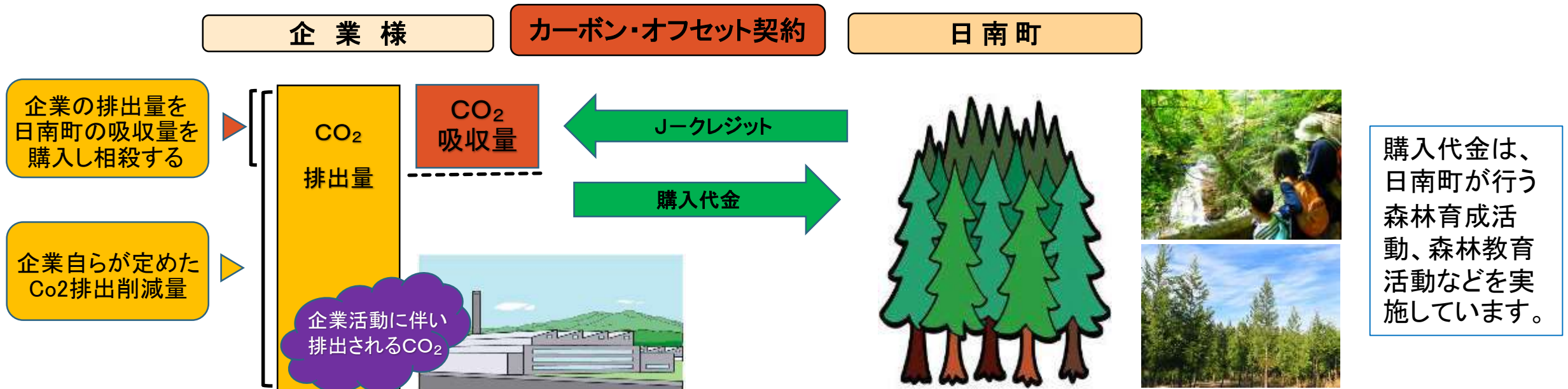


一級河川「日野川」の源流域

# 【J-クレジット】

J-クレジット制度とは、対象の森林における二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の吸収量を認定し、売買を可能とした制度であり、日南町ではFSC森林認証を受けている日南町有林において、間伐地を対象にクレジットを認証取得しており、クレジットの売上は林業振興・生態系保全に活用しています。

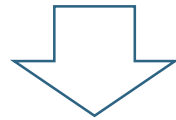
(※カーボンオフセットとは、企業活動等において排出されたCO<sub>2</sub>を、他の場所の吸収・削減量で埋め合わせて相殺することをいいます)



# なぜ、いま「J-クレジット」？



「持続可能な開発目標(SDGs)」において、地域の環境保全に資する目標が設定され、企業にとってもSDGsで設定された目標を事業機会として活かす新たなビジネスや企業価値の創造、持続可能な社会の実現に向け、取り組むことが求められています。



「J-クレジット」を活用することで、適切な森林管理などを通じた地球温暖化対策への貢献はもちろん、企業のブランディングにも役立つ手段として、いま注目されています。



# J-クレジットご購入のご提案

CSR活動の一環として、  
「社内教育」・  
「社員家族の交流、体験の場」の活用として

- ・J-クレジットのご購入をいただくことにより、環境貢献型企業としての企業PR、CSR活動の取組み
- ・日南町有林を活用した、社内教育または社員・家族の「交流」、  
「体験」、「学びの場」としてのご活用
- ・御社決算における「損金」計上として取扱が可能です。

